

いずれにせよ、2024年のリチウム生産量は対前年比減少とまではいかないまでも、過去数年来続いたような増産幅にはならない可能性がある。EV用LIBには必ず必要とされたリチウムだが、EVの行方によってその将来は大きく左右されることになり、將

来、リチウム生産量を振り返った時に、2024年はリチウム増産一辺倒であったこれまでの活動からのターニングポイントになっているかもしれない。(おわり)

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



10月のアルミ概況及び11月の見通し(2)

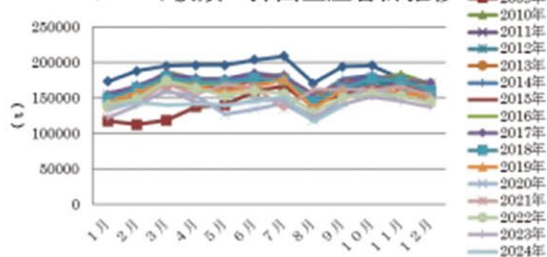
予想レンジ

LME現物後場買い 2,400~2,700ドル ☀
スクラップ +5~+10円(前月最終価格より) ☀
為替 145~155円 円安
(1か月間TTM)

◆アルミ圧延・押出品生産数

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は、前年比-1%の13万9426t。2か月連続のマイナス。

アルミ板類・押出生産合計推移

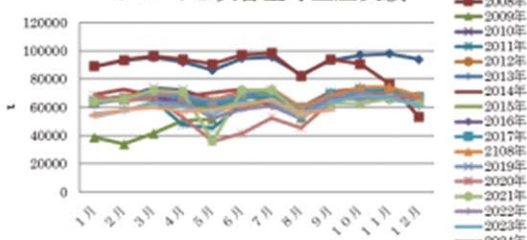


出典 日本アルミニウム協会

◆アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績

前年比-8.2%の5万8335t、2か月連続のマイナス。出荷は-9.2%の5万8744t、2か月連続のマイナス。

アルミ2次合金等生産実績



出典 日本アルミニウム合金協会

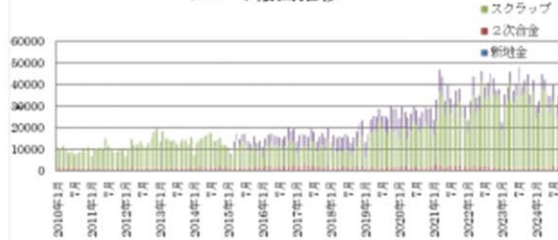
■貿易指標

◆輸出

新地金 -24.9%の211t
二次合金 +175%の1795t
スクラップ -32.3%の2万3782t
アルミ缶 +52.6%の9152t

輸出	7月	8月	9月
新地金	124t	171t	211t
前年比	-58.9%	-48.2%	-24.9%
二次合金	2820t	1635t	1795t
前年比	+284%	+94%	+179%
スクラップ	2万0804t	2万2182t	2万3782t
前年比	-27.1%	-34.1%	-32.3%
缶	7702t	7112t	9152t
前年比	+17.4%	+66.3%	+52.6%

アルミ輸出推移



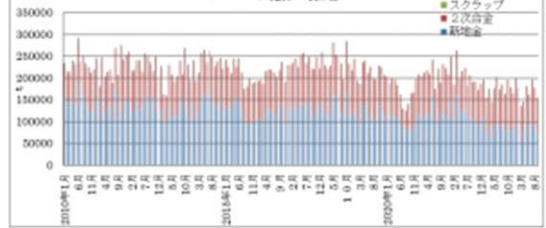
出典 財務省貿易統計

◆輸入

新地金 -4.6%の7万3327t
二次合金 -6.9%の8万625t
スクラップ +4.6%の640t
合金スクラップ +27%の6739t

輸入	7月	8月	9月
新地金	10万817t	8万6801t	7万3327t
前年比	-17.9%	-10.1%	-4.6%
二次合金	8万5719t	8万895t	8万625t
前年比	+9.4%	+3.1%	-8.9%
スクラップ	805t	716t	640t
前年比	+177.8%	+0.8%	+4.6%
合金スクラップ	7488t	7990t	6739t
前年比	+14%	+38.2%	+27%

アルミ輸入推移



出典 国務省貿易統計

(つづく)